

いちようだより

令和4年1月11日

天童中部小学校

校長 大谷敦司

11月に実施した「天童中部小教育活動に関する調査」は、初めてwebを活用した調査だったにも関わらず、たくさんの保護者の皆様からご協力いただきました。ありがとうございました。結果を集計し、考察したことをお知らせいたします。

1 児童アンケートの結果から

No.	項目	回答割合				集計結果
		あてはまる	はいど えはま るばら かあ かと	はいど えはま らばら かあ ない	な あ て は ま ら	
天童中部小学校 児童アンケート 全体 集計結果						
1	学校の生活は毎日楽しい。	55%	35%	6%	4%	
2	授業で勉強していることがよくわかる。	43%	45%	9%	3%	
3	みんなに進んであいさつしている。	56%	32%	8%	4%	
4	家の人と決めたゲームやテレビ等の約束を守っている。	48%	30%	13%	9%	
5	児童会目標を意識して活動している。	40%	43%	12%	5%	

今回、初めて質問した項目4「家の人と決めたゲームやテレビ等の約束を守っている」以外、すべての項目で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」のポイントが、昨年度の結果より上回るという結果となりました。

◇良いと感じているところ

9割の児童が、学校の生活を楽しんでいると感じています(前年度89%)。また、項目2「授業で勉強していることがよくわかる」児童は、昨年度より3ポイント上がり88%に、項目5「児童会目標を意識して活動している」児童は昨年度より9ポイントも高く83%となっています。

本校で重点的に取り組んでいる「子供の主体性を大切にされた教育活動」の成果の現れだと考え、引き続き、学習やくらしづくりを「自分たちで」進めていくことができるように支援していきます。

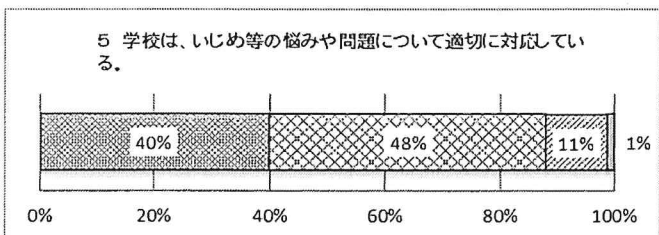
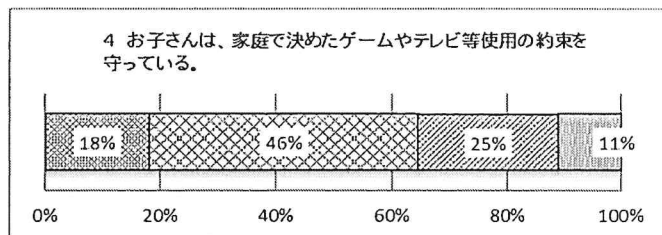
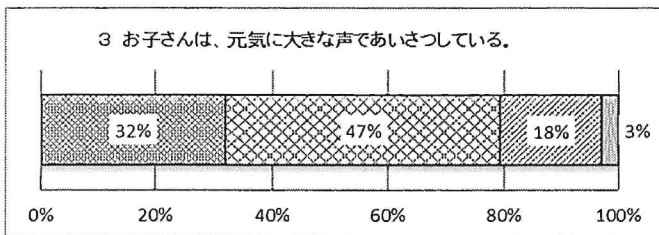
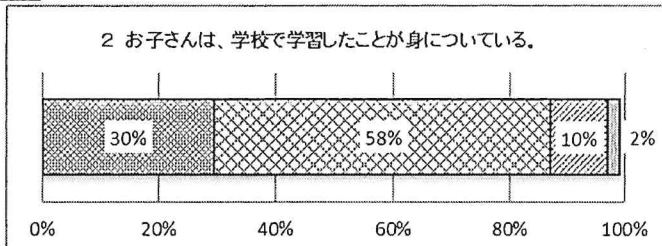
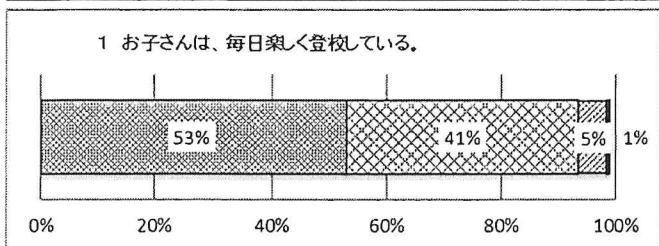
一方で「楽しくない」「勉強がよくわからない」と答えた児童については、学習やくらしの様子をより丁寧に見て、思いをよく聴き、きめ細やかな支援を行っていきます。

◇課題が見えたところ

前述した「家の人と決めたゲームやテレビ等の約束」に関して、22%の児童が「守っていない」と答えています。学校で育てている「自分で」考え行動する力を学校以外の場でも発揮できるよう、さらに高めていく必要性を感じます。

また、項目3「みんなに進んであいさつをしている」は、昨年度より2ポイント高くなりましたが、社会で求められる「自分から気持ちの良い挨拶をする態度」を、どの児童も一層身につけられるよう、これからも継続して指導していきます。

2 保護者アンケートの結果から(回収率77%)



	R2	R3
毎日楽しく登校している	93	94
学校で学習したことが身についている	84	88
元気に大きな声であいさつしている	76	79
家庭で決めたゲーム等の約束を守っている	63	64
いじめ等の問題に適切に対応している	92	88

◇良い評価をいただいたところ

項目1～4について、「あてはまる」「ややあてはまる」とお答えの保護者の方の割合が、前年度よりも高い結果となりました。中でも、項目2では、前年度より4ポイント上がり、88%の保護者の方から「学習していることが身についている」と捉えていただいています。

本校では、子供たちが社会へ出たときに幸せに生きていくために必要な学力をつけることができるよう、「子供たちが主体的に学ぶ」ことを大切にしています。子供たちが、自分で学習の仕方を決めて学び進めていく「マイプラン学習」や「フリースタイルプロジェクト(4～6年)」では、一人一人が本当に真剣に、意欲的に学んでおり、メディアや書籍でも紹介されました。これからも「子供が主体的に学ぶ」授業づくりに、全教職員で取り組んでいきます。

◇改善が必要なところ

項目5「学校は、いじめ等の悩みや問題について適切に対応している」では88%の方が「あてはまる」と回答してくださいました。しかし「あてはまらない」と感じている方が前年度より4ポイント増えており、対応の仕方を今一度丁寧に振り返り、改善していかなければならないと感じました。すべての子供たちが、安心して学校生活を送ることができるよう、子供たちの声を真摯に受けとめ、迅速に、そして本人が安心できるまできめ細かく対応し、保護者の方にもご理解いただけるようにしていきたいと思えます。

◇保護者の皆様が意識していらっしゃるところ

児童アンケートと連関する上記の質問以外で、ご回答いただいたご意見の中では、「お子さんの頑張りをできるだけ認める」(72.5%)

「お子さん自身で問題を乗り越え、解決することができるよう見守り励ましている」(57.8%)

この二つについて努めていらっしゃる方が多く、「今後も学校と協力したいこと」でも多くの方がこの二つを挙げられていました。

また、「生活リズムづくりやメディアコントロールへ取り組む」必要性を感じていらっしゃる方の割合も前年度より急増しています。引き続き、各ご家庭の実態に合わせて、子供たちを交えて話し合い、よりよいくらしづくりを目指していただきたいと思います。